DFG

保存用

ace 2.0

HELMET

取扱い説明書

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、本製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。この取扱説明書はDFGヘルメットの正しい取り扱い方法について説明しております。ヘルメットの取り扱いをご存知の方もこのヘルメット独自の装備、取り扱いがございますので、ご使用になる前に必ずお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管して下さい。
ヘルメットはいかなる事故にも絶対の安全を保障するものではありません。万一の際の危険の度合いを減らす装備のひとつであり、安全の一要素に過ぎません。安全で快適なバイクライフを楽しむためにも、この取扱説明書の内容をよくご理解くださいますようお願いいたします。

DFG WEBサイト

商品の詳細についてはHPをご確認ください。
https://dfgmoto.jp

DF DIRTFREAK
株式会社 ダートフリーク
〒489-0005 愛知県瀬戸市中水野町2-30
TEL:0561-86-8301

乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年が目安です」
ヘルメットは使用に伴い老朽化、劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、十分ご注意ください。また、3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損、改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、十分ご注意ください。

ヘルメットの保護能力には限度があります。
いかなる事故や転倒に対しても絶対安全という訳ではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒の際、外部からの衝撃を軽減するものに過ぎません。

必ず守って頂きたい注意事項

・使用前点検を必ず行ってください。
構成部品が正しく取り付けられているか乗車前に点検してからご使用ください。内装等の取り付け部品がしっかり固定されていない場合、ヘルメットが本来持つ機能や保護能力を十分に発揮できません。よく確認してご使用ください。

・頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。
大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは頭を締め付け痛くなる事があります。首を振ってもズレない頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。

・あご紐はしっかり締めてください。
あご紐を締めなかったり、ゆるい締め方では走行中にズレたり、万一転倒した際に脱げてしまい、頭を守ることができません。

・走行中のヘルメットの機能操作は危険ですのでしないでください。
走行中のヘルメットの機能操作（あご紐や内装類の調整など）は非常に危険です。各機能操作はオートバイが停止状態のときに行ってください。

・大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくても使用しないでください。
ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れる事で衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けた後は既にライナーが潰れている場合が多いため、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。

・ヘルメットの改造は絶対しないでください。
ヘルメットに穴をあけたり、削ったりする事は、性能を損ない非常に危険です。また、着脱可能な部品を取り外したままでの走行も大変危険です。

・ヘルメットのお手入れには薄めた中性洗剤をご使用ください。
熱湯（50度以上）や塩水、ベンジン、シンナー、ガソリン等を使用しますとヘルメット本体に悪影響を与えますので、絶対に使用しないでください。汚れは中性洗剤を薄めて柔らかい布で拭き取る様にしてください。

・ヘルメットに塗料、接着剤、ガソリン、その他いかなる溶剤もつけないでください。
溶剤によりシェル及び衝撃吸収ライナーが侵され衝撃吸収力が低下する場合があります。

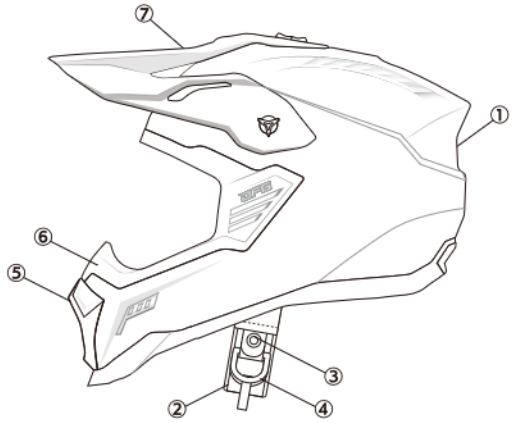
・ヘルメットを持ち運ぶ際の注意事項。
ヘルメットは必ず本体またはあご紐を持ってお取り扱いください。内装やバイザーをつかんで持ち運ぶとヘルメットを落とす恐れがあります。また、ヘルメットをオートバイのホルダーに付けたままの走行はオートバイの操縦に支障をきたすことがあり大変危険ですのでおやめください。

・高温になる所にヘルメットを放置しないでください。
直射光線の当たる所や、暖房器具の近くなど高温になる場所に長期間放置すると熱によりライナー等が変形し衝撃吸収能力が低下する恐れがあります。

・ヘルメットの交換の目安は購入後3年です。
正常に使用されていても目に見えない材料の劣化が進み、ヘルメットの性能は低下していきます。購入後3年が経過したヘルメットは事故や転倒の際に十分に保護性能を発揮しない恐れがありますので早めに新しいヘルメットに交換して下さい。

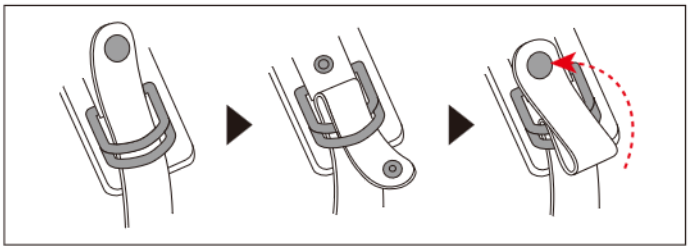
各部名称

①シェル
②ストラップカバー
③ストラップボタン
④Dリング
⑤マウスピース
⑥マッドガード
⑦バイザー



あご紐の締め方

あご紐が下の図の様に正しく装着できているか、しっかりと緩みなく締められているか、必ず確認して下さい。あご紐がたるんでいる様であれば、締め直して下さい。確実にあご紐が締められていないと、万一転倒した際にあご紐が外れてヘルメットが脱げてしまい大変危険です。



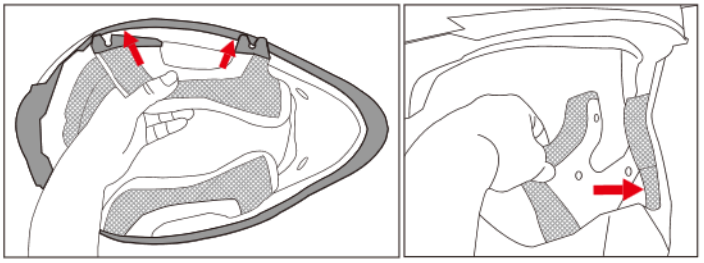
※ヘルメットを使う前に、パッドが正しい位置にあるかを必ず確認してください。パッドが適切に取付けられていないと、事故発生の際、深刻な負傷の危険が高くなる恐れがあります。

チークパッドの取外し

1.チークパッドのボタン（3カ所）を外します。
2.ヘルメット下部のスリットからチークパッドのプラスチック板部分を引き抜きます。
※ボタンを外す際はボタンの根本部分をつかんで外すようにしてください。布部分のみを引っ張るようにして外すと、チークパッドの生地が破れたりボタンが破損する恐れがありますのでご注意ください。

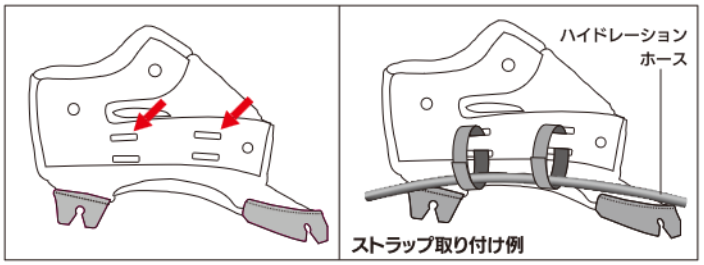
チークパッドの取付け

1.ヘルメット下部のスリットにチークパッドのプラスチック板部分を差し込みます。
2.チークパッドのボタン（3カ所）を取付けます。



ハイドレーションホース固定用ストラップを取り付ける場合

1.チークパッド裏側のスリットに図のようにストラップを通してご使用してください。ストラップの先は過度に重量のあるものを取りつけないようにしてください。チークパッド裏側のスリットが破断したり、走行に支障をきたす場合があります。使用後はストラップを外してください。

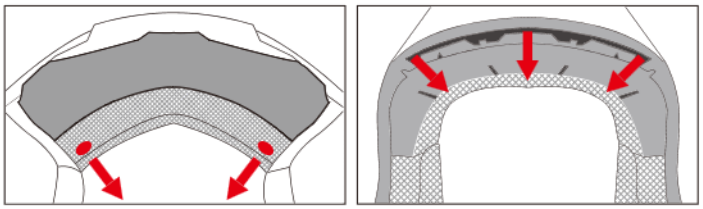


コンフォートライナーの取外し

1.前方のプラスチック板をヘルメット側のスリットから引き抜きます。上部のベンチレーション部分はツメ(2カ所)で固定していますので、取り外しにはご注意ください。
2.後側のボタン（2カ所）を外してコンフォートライナーを取外します。

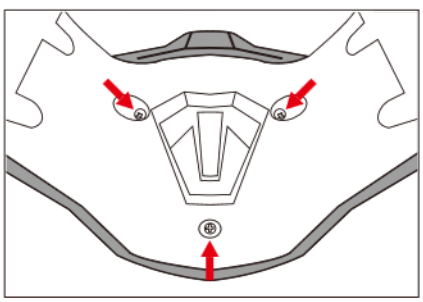
コンフォートライナーの取付け

1.最初に後側のボタン（2カ所）をはめ込みます。
2.前側のプラスチック板をヘルメット側のスリットに差し込みます。



マウスピースのの取外し（付け替えの場合）

1.ヘルメット内側のボルト3カ所を外します。
2.表側からマウスピースを取り外します。
3.新しいマウスピースを付け替えて、内側からボルトで固定します。



ストラップカバーの取外し方

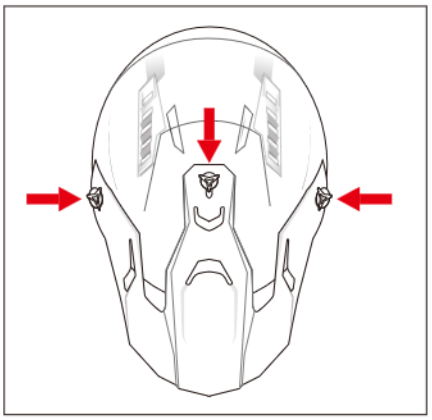
ストラップカバーのボタンを外し、ストラップから引き抜きます。

ストラップカバーの取付け方

ストラップカバーをストラップに通し、ボタンを「パチッ」と音が鳴るまではめ込みます。
※ストラップカバーは左右共通です。

バイザーの角度調整

1.バイザーの角度は左右のスクリューはそのまま固定した状態で上部のスクリューを緩めて調整可能です。専用のバイザースクリュー以外のものは使用しないでください。



バイザー裏面の反射防止ステッカーについて

1.3枚のステッカーを図のように配置して貼り付けてください。また、ステッカーを貼る際はバイザー表面を脱脂してください。

※反射防止シートはホワイトのモデルなどのバイザー裏の色が明るい物にのみ付属します。

